

## 市長の平成30年度 施政方針について



吉田 剛  
議員

平成29年度は、第1次春日部市総合振興計画の最終年度であり、計画の目標値と実績値の分析をしっかりと行うことは、今後のまちづくりにおいて重要なことであると考えます。

一方で、平成30年度は、第2次春日部市総合振興計画の計画初年度であり、この年度でどのようなスタートを切るかにより計画の成否が左右されてしまうと、言っても過言ではないくらい重要な年度であると考えます。

そこで今回は、市長の平成30年度施政方針について、第1次春日部市総合振興計画の総括と、石川市長の平成30年度予算における意気込みについて伺います。

### ○総合政策部長

重点プロジェクトとして位置付けた56事業のうち市立病院再整備事業等の7事業が既に完了していることから順調

に進捗していると考えます。平成30年度に改めて総合振興計画の検証を行い、総括したいと考えています。

### ○市長

環境の変化に柔軟に対応しながらさまざまな施策をスピード感を持って実現していかなければならないと考えています。そのために私自身が先頭に立ち、第2次春日部市総合振興計画に掲げるまちの将来像「つながる にぎわう すまいるシティ 春日部」の実現に向け、職員と一丸となって全身全霊をかけ、チャレンジしてまいります。



第2次春日部市総合振興計画

## 豊春地域に児童館の設置を



坂巻 勝則  
議員

市の児童館は現在、エンゼルドーム、グーカすかべ、スマイルしようわの3館があります。しかし、どの児童館も春日部市の東側に位置しており、豊春地域からは遠い存在です。小さい子どもを連れて自転車や公共交通機関で行こうと思うと、時間も体力も相当に使ってしまう、次第に足が遠のいてしまうのが実情です。

平成28年度の来館者数を地区別の人口で除した利用率が一番高かったのは幸松地域で204.4パーセント、一番低かったのは豊春地域で48.6パーセントでした。

幸松地域の人と比べ、豊春地域の人は4分の1しか利用できていません。これでは明らかに地域格差が生まれていると言わざるを得ません。

本来、どの地域の子どもたちも平等にサービスを受ける権利があるはずなのに受けられ

れない。これは不平等だと思っています。昨年10月の市長選で石川市長は「科学技術学習児童館の創設」を公約しました。そこでぜひ、豊春地域にこの児童館を設置していただきたいと思っておりますが、市長の考えを伺います。

### ○市長

今後の公共施設のあり方を、各地域の実情を踏まえ、さまざまな角度から十分に検討する中で適正配置を進めていきたいと考えています。

### ○このほか

一ノ割駅の橋上化を

## 春日部市観光開発施策の取り組みについて



水沼日出夫  
議員

本市の経済発展プロジェクトとしての観光振興について、新たな観光資源の創出や活用を図り、中心市街地の活性化やホテルチェーン等の企業誘致への取り組みを一体的に進めることができるようなセクションの設置の方向性があります。

その中から新たに設置される春日部市観光振興審議会の概要と、行政組織上の観光振興課の役割を伺います。

また、平成30年度に策定される観光振興基本計画について、第2次総合振興計画との整合等を含め、その位置付けや概要、及び策定期間と計画の範囲等を伺います。

### ○環境経済部長

観光振興審議会は、本市の観光振興を推進するため、執行機関における附属機関として設置するもので、市の観光振興に関する事項を調査審議するものとしていきます。

観光振興課は観光に関する広報活動等を積極的に行うとともに観光施策を企画立案する等、総合的な調整役を担っていくものと捉えています。

観光振興基本計画は、観光振興に必要となるビジョンを示し、本市の強み、特色や今後取り組むべき方向性についてまとめるもので、第2次総合振興計画との整合性を図り、観光分野の個別計画として位置付け、観光にかかわりの深い部署の施策を反映し、総合振興計画の最終年度となる平成39年度までの計画としていきます。

## 中心市街地の雇用・消費拡大について



荒井 寛 議員

中心市街地の現状は大変厳しい状況にあると考えます。

中心市街地において、さらに多くの雇用をつくり出すことはできないでしょうか。例えば本社ではなく支社機能の誘致や、創業支援により中心市街地にオフィスを構えられる業種を募るなど、雇用がつかれる産業を引っ張ってくるようなまちなかの雇用政策はとれないでしょうか。

このことにより人の流れを増やす、昼間の人口を増加させることが可能であると思いますが、市の考えを伺います。

### ○環境経済部長

雇用を創出するためには、まず中心市街地が活性化することが必要であり、そのためには大勢の人たちがまちなかに常時いることが重要と考えます。春日部労働総合庁舎が中心市街地に立地すると安定した人の流れが生まれ、交流人口が増加します。また、周

辺部に飲食店や物品販売店、オフィス等の民間事業者の進出も見込まれ、中心市街地の活性化や雇用の創出につながるものと期待しています。

平成30年度は中心市街地活性化企業誘致担当を配置し、中心市街地・企業・雇用が三位一体となった施策が行えるよう努力していきたいと考えます。

このほか

### ○道路行政について

○河川・道路・公園など、市民の財産である公共空間の利活用を推進して魅力ある中心市街地を創るについて

## 春日部駅連続立体交差事業の見直しと東西自由通路を



宇都宮 武彦 議員

連続立体交差事業は、完成までに多大な時間を要するところと、多額の費用が必要となることが問題です。

石川市長は、昨年市長選で、2年以内の着工を掲げていました。都市計画決定の見直しと、2年以内に着工できるのか伺います。総事業費と負担

## 障がい者(児)の自立と生活支援及び障がい者(児)の社会参加の促進について



中川 朗 議員

療育支援の充実については、障がいのある子どもたちに対し、よりきめ細やかなサービスの提供が必要と考えています。

本市のふじ学園は老朽化が進行しており、そういった対応が難しいと見受けられます。このような課題を同時に解消するため、複合型子育て支援施設を整備することですが、ぜひとも取り組むべき事業であると考えています。その施設の目的や特徴について伺います。

### ○子育て支援担当部長

施設整備の目的については、待機児童の解消を図ること、また保育サービスや療育支援の充実を図ることとし、さらには障がいの有無にかかわらず、子どもたちのさまざまに交流を通じた、自然な出会いによるノーマライゼーションの推進を図るため、病児保育に対応する保育所と児童発

達支援センターを複合施設として一体的に整備するものです。

特徴としては、大きく3点あると考えています。

1つ目は、本市では初となる病児保育に対応した公立保育所を新設する点です。

2つ目は、児童発達支援センターについて、老朽化したふじ学園の建てかえに合わせ、療育支援の一層の充実を図る点です。

3つ目は、保育所の新設と児童発達支援センターの移転建てかえを複合施設として一体的に整備する点です。



ふじ支援センター

春日部市の学校教育について



荒木 洋美 議員

春日部市の学校教育は総合振興計画の「はぐくみの施策」を受け、生きる力の育成を目指す春日部市ならではの教育を推進しています。各学校が地域と連携した魅力ある学校づくりのための特色ある教育活動を展開しています。

その全体像となる「かすかべっ子はぐくみプラン」を共有するとともに「伝え合い、学び合い、育ち合い、思い合いがうれしい教室、うれしい学校」を合い言葉に春日部メソッドを推進しています。

その取り組みの一環として小、中学校の教職員の代表の方が「春日部メソッド実践発表会」を行っています。もつとたくさんの方など参加規模を大きくして行ってみたいかがででしょうか。

○学務指導担当部長  
発表会については、多くの方々に広くご案内し、提案発表を参観していただくことで、

努力し続ける教職員への信頼も高まり、教育効果が得られると考えられることから貴重なご提案と受け止めさせていただきます。今後、情報公開あるいは個人情報保護の観点から内容を精査した上で、多くの方々の参加について研究していきます。

このほか

○市民の防災意識啓発について

○障がいのある人が住み慣れた地域でいきいきと暮らせるために

○就学援助、学用品費等の入学前支給について



春日部メソッド実践発表会の様子

市民プールの建設を



並木 敏恵 議員

市民プールが廃止になって8年。市民プールを願う市民の声は一層大きくなっていきます。埼玉県内では、人口20万人以上の都市で公営プールがないのは春日部市だけです。

春日部市に市民プールは要らないのでしょうか。必要性について市長の認識を伺います。

また、環境センターの余熱施設として温水プールをつくるという約束が今なお実現されていない責任をどう感じているのでしょうか。

市民との約束を26年間棚上げし、無視する姿勢に対して厳しく批判をし、早急に建設することを強く求めます。

○市長  
総合的な視点に立った市政運営が最も重要であると考えています。

○環境経済部長  
余熱利用施設は、熱量が余った場合に活用するものです。さまざまなサイクル法が制

定され、処理方法に大きな変革が訪れた結果、現在は熱を供給する余力はありません。豊野環境衛生センターは可燃ごみの焼却施設であり、余熱利用施設をつくるための施設ではないことをご理解いただきたいと思えます。新たなごみ焼却施設の建てかえ時に地元自治会の皆さまと十分な協議を行い、地元還元施設のあり方を判断してまいりたい旨、ご理解をお願いしています。

このほか  
○福祉タクシー券を高齢者にも  
○武里出張所の充実を

命、暮らしを守る皆、庄和総合支所の機能充実を



大野とし子 議員

春日部市行政組織条例の一部改正によって、庄和総合支所が部相当から課相当になります。本庁の市民生活部の下に庄和総合支所が置かれ、総務、市民窓口、福祉・健康保険の3担当となります。庄和総合支所は、合併公約で「サービスは高く、負担は低く」と

いう中、庄和地域の住民のサービスを低下させない。」というところで設置されました。変更後も現在行われている業務は継続させ、必要な業務は拡充していくべきと考えます。そこで以下伺います。①災害時に十分な対応ができるよう、地域に精通した職員を増員すること。②市民窓口担当においては、現在の業務を継続すること。③福祉・健康保険担当においては、子育て世代包括支援センターの機能を持たせること。④高齢者、障がい者、子育て中の方が総合支所で手続きを完了できること。

○庄和総合支所長

①春日部市地域防災計画に基づき、必要な組織編成により職員を動員します。②これまでと同様に総合支所1階において取り扱うこととなっています。③子育て世代包括支援センターと十分に連携を図り、適切につなぐ役割を担っていきたくと考えています。

④ほぼ本庁と同等の手続きが庄和総合支所で完了する体制を整備しています。

このほか

○庄和北部地域の学校再編は、子どもたちの成長発達を保障する学校に

## NHK受信料 最高裁判決について



井上 英治  
議員

昨年12月にNHK受信料に  
関して「合憲」との最高裁判  
決が出ました。

「NHKの勝利」の報道が  
多かったようですが、そうで  
はなく、NHKが言っていた  
「NHKからの申し込みで契  
約成立」は棄却され、「TV  
設置者との合意で成立」「N  
HKが裁判で支払い勝訴した  
時点で確定」となりました。  
960万世帯もの未払いが  
あるため、未払い者を全てN  
HKは訴えられません。

しかも、時効までの分しか  
回収できませんから、解決策  
は信頼回復しかありません。

反日偏向放送の是正、年収  
1700万円と言われる職員  
給与の改善、組織の肥大化を  
止めることです。

そのためにも市役所で支  
払っているNHK受信料の見  
直しを提案します。

現在、TVは何台使用し、  
年間の支払い受信料を伺いま

す。  
○総務部長

市役所全体で契約している  
台数は、小中学校の各教室に  
設置されているものなど、受  
信料が免除された契約を除き  
有料で契約していますが、平  
成29年度の支払い実績で88台  
分の契約を行い、総額で12  
0万6961円を支払ってい  
ます。

また、台数の内訳の部署別  
では、小学校が24台、中学校  
が13台、公民館が16台、消防  
署が10台、本庁舎が9台、そ  
のほかの施設が16台となっ  
ています。

## 魅力ある藤の牛島駅 周辺の整備を



古沢 耕作  
議員

私の地元である藤の牛島駅  
周辺の整備の課題として、駅  
前広場や駅に至るまでのアク  
セス道路が狭く、利用者にと  
って安全性・利便性に問題が  
あること、また、そのことが  
商店街の活性化を妨げている  
現状があります。さらに、駅  
の南北を結ぶ地下道は老朽化

しており、また、入口が駅改  
札口から少し奥まった場所に  
あるため、どこことなく薄暗く、  
昼間でも怖い感じがするとの  
声が、地域住民の方々から聞  
かれます。春日部市の財産で  
ある観光地「牛島の藤」の玄  
関口でもある、この藤の牛島  
駅の今後の整備、また、イメ  
ージアップについて、市の考  
えを伺います。

○都市整備部長

既存の都市基盤を有効活用  
することが重要と考えます。

また、観光名所を紹介する案  
内板の設置など、駅前広場の  
イメージアップを図る施策も  
有効であると考えています。

○建設部長

地下道の対策は、富士見町  
地下道や南桜井地下道におい  
て、明るく、誰もが通りやす  
くなるよう、水族館や空を題  
材に絵画を描いています。壁  
画については、地域の要望を  
いただいた際には意見交換を  
行っていききたいと考えます。

○市長

個別箇所の整備については、  
市全体の事業の中で総合的に  
判断していきます。

このほか

○障がい者の社会進出の促進  
について

## 旧新方堀について



河井 美久  
議員

本市の治水対策においては、  
首都圏外郭放水路の整備や1  
00ミリ安心プランの実施な  
ど、国や県と連携し、浸水被  
害の軽減に取り組んでいるも  
のと考えています。

旧新方堀は、安之堀川の西  
側に位置し、豊町3丁目付近  
からウイング・ハット前の市  
道1―23号線に沿って新方川  
まで南北に流れる水路であり、  
この市道1―23号線及び周辺  
の道路がたびたび冠水被害を  
受けています。

そこで、以下伺います。

①現在までの整備状況や管  
理の状況について。

②今後の整備方針について。

○建設部長

①新方堀は全長約3.8キ  
ロメートルで、上流からウイ  
ング・ハットの付近までの約  
2キロメートルと最下流から  
1キロメートルが整備済みで、  
ウイング・ハット付近から下  
流の越谷市との境界までの約

800メートルのうち、県道  
野田岩槻線との交差点の前後  
の約100メートルを除く約  
700メートルが未整備とな  
っています。管理の状況は、  
のり面の定期的な除草に加え  
て、流れを阻害する草の刈り  
取りや護岸の修繕、堆積した  
土砂のしゅんせつなどを行い、  
河川の流下能力の確保に努め  
ているところです。

②新方川の整備の進捗やそ  
の効果を確認した上で、整備  
の方向性や時期について検討  
していきたいと考えています。  
このほか

○中之堀川について



市道1―23号線に沿って流れる旧新方堀

**春日部女子高等学校  
北側道路の道路整備について**



石川 友和  
議員

春日部女子高校の北側を通る市道1-25号線は、正門から敷地に面する道路幅員は約5メートルあるかどうかという所で、狭くて危険な道です。学校関係者にお伺いした話では、春日部女子高校において、既存の校舎のバリアフリー化を図るため、エレベーターを設置する計画が持ち上がったとのことでした。

仮に、春日部女子高校において既存の校舎にエレベーターを設置することは、「春日部市開発事業の手続及び基準に関する条例」に該当し、手続が必要となるのでしょうか。

また、校舎にエレベーターを設置することになると、市は条例に基づき、埼玉県に対して女子高北側の道路後退を要請するのでしょうか。

また、仮に北側の道路後退が該当する場合、道路後退の時期については、いつごろに

なるのでしょうか。

○建設部長

エレベーターを設置するための増築については、建築行為に該当しますので、条例の手続が必要で、増築が行われる場合には、条例に基づき1メートルの後退を要請していきます。

また、道路拡幅整備の時期については、春日部女子高校で増築が行われる場合、増築工事とあわせて道路整備工事を行うものと考えています。

このほか  
○小中学校の長期休業について



春日部女子高校北側の市道1-25号線

定例会・臨時会の傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の傍聴者受付で、住所及び氏名をご記入の上、傍聴券を受け取り、傍聴席に入場してください。

傍聴席は56席（車いす傍聴席2席を含む）となります。

会議は、通常午前10時から開催します。

**政務活動費  
収支報告一覧の公開**

政務活動費は、地方議会議員の調査・研究・その他の活動に資するために交付されています。

この、政務活動費の収支報告一覧については、市議会ホームページで公開しています。

また、議会事務局のほか、市役所本庁舎および庄和総合支所の市政情報室でも閲覧できますので、お問い合わせください。

**小島文男議員が逝去**



小島文男議員が、平成30年3月2日に逝去されました。享年84歳。

小島文男議員は、昭和54年に春日部市議会議員に初当選し、昭和60年に民生経済委員

長、平成3年に文教福祉委員長に就任するなど要職を歴任されました。

また、平成8年に市議会副議長、平成12年と17年に市議会議長に就任され、10期連続当選により約38年間という長きにわたり、市政の発展に尽力されました。

故人の生前のご功績をしのび、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

合計	16	14	13	9	7	6	2	3/1	27	26	23	22	2/19	月日	今定例会傍聴状況
														傍聴者数	
136	5	17	12	33	21	30	5	5	2	1	1	2	2	主な日程	
	討論・採決	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	委員会	委員会	質疑	質疑	質疑	質疑	上程・説明		

## 常任委員会行政視察

(◎委員長 ○副委員長)



総務委員会 (守口市)  
◎金子 進 ○木村 圭一 大野とし子  
○今尾 安徳 吉田 剛 古沢 耕作  
山崎 進



厚生福祉委員会 (郡山市)  
◎佐藤 一 ○鈴木 一利 石川 友和  
並末 敏恵 矢島 章好 河井 美久  
小久保博史 栗原 信司



建設委員会 (岡崎市)  
◎栄 寛美 ○水沼日出夫 坂巻 勝則  
卯月 武彦 会田 幸一 小島 文男  
蛭間 靖造 武 幹也



教育環境委員会 (福島市)  
◎荒木 洋美 ○斎藤 義則 井上 英治  
松本 浩一 鬼丸 裕史 滝澤 英明  
海老原光男 中川 朗

### 閉会中の委員会活動

- ▽総務委員会  
1月18日～19日  
・行政視察  
守口市 (新庁舎の整備について)  
海南市 (新庁舎の整備について)
- ▽厚生福祉委員会  
1月18日～19日  
・行政視察  
上山市 (かみのやま健康マイレージについて)  
郡山市 (手話言語条例について)
- ▽建設委員会  
1月10日～11日  
・行政視察  
羽島市 (空き家対策について)
- 岡崎市 (中心市街地における水辺を活かしたまちづくりについて)
- ▽教育環境委員会  
1月18日～19日  
・行政視察  
山形市 (中心市街地における商業振興施策及び山形まなび館について)  
福島市 (農業施策について)
- ▽議会運営委員会  
12月26日～27日
- ▽議会改革検討特別委員会  
1月30日  
・政務活動費の手引きの見直しについて
- 2月14日  
・平成30年3月定例会の運営について
- ▽議会改革検討特別委員会  
1月30日  
・政務活動費の手引きの見直しについて
- 2月14日  
・政務活動費の手引きの見直しについて
- ▽広報広聴委員会  
3月20日  
・議会だより第51号について  
・市民へ市議会を周知する冊子の作成について  
・視察結果報告書について
- 4月3日  
・議会だより第51号について
- ▽図書室運営委員会  
4月3日  
・平成29年度図書費決算について  
・平成30年度図書費予算(案)について



### 編集後記

春は別れと出会いの季節です。この冊子が皆さまのお手に届くころには改選を終え、新たに32名の市議会議員により、新体制での議会運営が開始されていることと思います。現在の広報広聴委員でお届けする議会だよりも今号が最後になりますが、誌面に彩りを添え、より読みやすくりニューアルをいたしました。これからもご愛読のほど、よろしくお願いいたします。

#### 広報広聴委員会

- |        |       |
|--------|-------|
| 委員長    | 矢島 章好 |
| 副委員長   | 石川 友和 |
| 委員     | 水沼日出夫 |
| 委員     | 齊藤 義則 |
| 委員     | 大野とし子 |
| 委員     | 古沢 耕作 |
| 委員     | 木村 圭一 |
| 委員     | 蛭間 靖造 |
| オブザーバー |       |
| 議長     | 滝澤 英明 |
| 副議長    | 武 幹也  |

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111 (代表)

内線3116

再生紙を使用しています。